

地域計画

| | |
|-------------------|----------------|
| 策定年月日 | 令和7年3月31日 |
| 更新年月日 | () |
| 目標年度 | 令和16年度 |
| 市町村名 (市町村コード) | 養父市 (28222) |
| 地域名 (地域内農業集落名) | 大谷 (大谷) |

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

| | |
|--------------------------------------|---------|
| 区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域) | 17.6 ha |
| ① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 | 17.6 ha |
| ② 田の面積 | 17.4 ha |
| ③ 畑の面積(果樹、茶等を含む) | 0.2 ha |
| ④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計 | 0.4 ha |
| ⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計 | 0.4 ha |
| (参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計 | 7.9 ha |
| うち後継者不在の農業者の農地面積の合計 | 6.2 ha |
| (備考) | |

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区は、昭和55年から昭和61年に畑ヶ田地区、中ノ地区、エンバラ地区のほ場整備に取り組み一区画20a(標準区画)で27haのほ場整備が完成しているが、3つの地区は、それぞれ用水系統が異なり、用水路の管理もそれぞれ個別に行い、管理体制も異なっている。また、地形、土質も大きく異なるため、集約化にも大きな支障となっている。また、頭首工や用水路が老朽化しており、劣化が著しく進んでいる。
 認定農業者が2名おり、営農を継続中だが経営規模も少なく高齢化している。
 今後、地区の農業を担う者が減少していく中、効率的、総合的な農地利用を図っていくためには農業後継者の育成と地区全体で農業を担う者を支えていく仕組みや営農しやすい条件、環境整備と農地の集約化に向け、地権者、農業者の理解と協力を図っていく必要がある。また、校区で推進している自然環境を活かした農法や取組への理解を深めていく必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・当地区は、水稻の作付けが中心であるが、近年、有機栽培による野菜栽培も少しずつ取り組みが行われている。今後も環境に配慮した減農薬、有機農業の取り組みを推進する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

| | | | |
|---|------|-------------|------|
| (1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針 | | | |
| 総合的な農地利用調整を図るため、農会、農業を担う者を中心に農地利用調整会を毎年開催する。集約化に向けて地権者や農業者の理解を得ながら貸付条件等の調整を進める。 | | | |
| (2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標 | | | |
| 現状の集積率 | 35 % | 将来の目標とする集積率 | 35 % |
| (3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標 | | | |
| 今後、認定農業者、担い手農家等農業を担う者へ農地の集積を進める。集約化は、地権者の貸付条件等の調整を図り、理解を得て農業者の意向を考慮しながら進める。 | | | |

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

| | |
|--|--|
| (1) 農用地の集積、集団化の取組 | |
| <p>【いきいき農地バンク方式の推進】</p> <p>令和4年度から地域の農地全体を農地バンクに貸付ける「いきいき農地バンク方式」に取り組み、認定農業者等農業を担う者に集積している。引き続き「いきいき農地バンク方式」に取り組み、地域農業を担う者に集積を進める。集約化は、地権者の理解と農地利用条件の調整を図り徐々に推進する。</p> <p>【農地利用調整会の開催】</p> <p>離農農業者がスムーズに農業を担う者に農地を引き継ぎ、遊休農地発生防止を図るため、農会、農業を担う者を中心にした農業関係者による「農地利用調整会」を毎年定期的に開催する。</p> | |
| (2) 農地中間管理機構の活用方法 | |
| 農地中間管理機構を活用し「いきいき農地バンク方式」に取り組み、農地集積を進める。その後、農業を担う者の経営意向を踏まえて段階的に集約化する。その際は、農地利用調整会、農業委員・農地利用最適化推進委員と連携し推進する。 | |
| (3) 基盤整備事業への取組 | |
| ほ場整備済の農地でも経年劣化により用排水路の漏水や農道の維持管理等に苦慮している。農道の舗装化、用排水路等の再整備等を計画的に実施する。農業用機械の大型化が進んでいるため、畦畔除去等による区画の再整備を検討する。 | |
| (4) 多様な経営体の確保・育成の取組 | |
| 他地区からの経営体の誘致を含め、新たな就農者を迎え入れる環境整備に取り組む。地区の担い手と農業を担う者(自給的兼業農家)が協力し営農できるよう、条件、環境整備に取り組む。地区の農業を担う者による集落営農組織(グループ)を検討する。兵庫県、JA等の営農指導制度を有効に利用する。 | |
| (5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 | |
| | |

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

| | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|-----------|-------------------------------------|-------------|-------------------------------------|---------|--------------------------|------|--------------------------|------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | ①鳥獣被害防止対策 | <input checked="" type="checkbox"/> | ②有機・減農薬・減肥料 | <input checked="" type="checkbox"/> | ③スマート農業 | <input type="checkbox"/> | ④輸出 | <input type="checkbox"/> | ⑤果樹等 |
| <input type="checkbox"/> | ⑥燃料・資源作物等 | <input type="checkbox"/> | ⑦保全・管理等 | <input checked="" type="checkbox"/> | ⑧農業用施設 | <input type="checkbox"/> | ⑨その他 | | |

| | |
|--|--|
| 【選択した上記の取組内容】 | |
| <p>①鳥獣被害防止対策 鳥獣害対策用防止柵の点検、補修を定期的実施する。目撃情報や被害情報があった場合には速やかに対応できる体制を構築する。併せて地域内外から捕獲人材の確保・育成を進める。</p> <p>②有機・減農薬・減肥料 自然環境に配慮した有機農業、減農薬農法を推進し、養父市で進める「人にやさしい農業ビジョン」の取り組む農業者を育成する。自給農家にも自然環境に配慮した農業を推進する。</p> <p>③スマート農業 担い手を中心に農作業の省力化、効率化を図るスマート農業に取り組む。</p> <p>⑧農業用施設 保全隊が中心となり、農道水路の補修を行う。</p> | |

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

| 属性 | 農業を担う者 (氏名・名称) | 現状 | | | 10年後 (目標年度:令和 年度) | | | | |
|----|-------------------|-------|------|--------|----------------------|------|--------|----------|----|
| | | 経営作目等 | 経営面積 | 作業受託面積 | 経営作目等 | 経営面積 | 作業受託面積 | 目標地図上の表示 | 備考 |
| | 別紙の通り | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| | | | ha | ha | | ha | ha | | |
| 計 | 1経営体 | | 0 ha | 0 ha | | 0 ha | 0 ha | | |

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3: 農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4: 作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5: 備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

| 番号 | 事業体名 (氏名・名称) | 作業内容 | 対象品目 |
|----|-----------------|------|------|
| | 該当なし | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

| | | | |
|-------------|--|---------------|--|
| 農用地所有者等数(人) | | うち計画同意者数(人・%) | |
|-------------|--|---------------|--|

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

| 属性 | 農業を担う者 (氏名・名称) | 現状 | | | 10年後 (目標年度:令和 16 年度) | | | | |
|----|-------------------|-------|----------|--------|-------------------------|----------|--------|----------|----|
| | | 経営作目等 | 経営面積 | 作業受託面積 | 経営作目等 | 経営面積 | 作業受託面積 | 目標地図上の表示 | 備考 |
| 1 | 利用者 | 水稲 | 0.177 ha | ha | 水稲 | 0.177 ha | ha | 灰 | |
| 2 | 利用者 | 水稲 | 0.219 ha | ha | 水稲 | 0.219 ha | ha | 緑 | |
| 3 | 認就 | 野菜 | 0.234 ha | ha | 野菜 | 0.234 ha | ha | 橙 | |
| 4 | 利用者 | 水稲 | 0.071 ha | ha | 水稲 | 0.071 ha | ha | 灰 | |
| 5 | 利用者 | 水稲 | 0.067 ha | ha | 水稲 | 0 ha | ha | 赤 | |
| 6 | 利用者 | 水稲 | 0.21 ha | ha | 水稲 | 0.21 ha | ha | 灰 | |
| 7 | 利用者 | 水稲 | 1.722 ha | ha | 水稲 | 1.722 ha | ha | 灰 | |
| 8 | 利用者 | 野菜 | 0.252 ha | ha | 野菜 | 0.252 ha | ha | ピンク | |
| 9 | 利用者 | 水稲 | 0.082 ha | ha | 水稲 | 0.082 ha | ha | 灰 | |
| 10 | 利用者 | 水稲 | 0.179 ha | ha | 水稲 | 0.179 ha | ha | 緑 | |
| 11 | 利用者 | 水稲 | 0.196 ha | ha | 水稲 | 0.196 ha | ha | 緑 | |
| 12 | 利用者 | 水稲 | 0.722 ha | ha | 水稲 | 0.722 ha | ha | 緑 | |
| 13 | 利用者 | 水稲 | 0.031 ha | ha | 水稲 | 0 ha | ha | 赤 | |
| 14 | 利用者 | 水稲 | 0.207 ha | ha | 水稲 | 0.207 ha | ha | 緑 | |
| 15 | 利用者 | 水稲 | 0.194 ha | ha | 水稲 | 0.194 ha | ha | 灰 | |
| 16 | 利用者 | 水稲 | 0.047 ha | ha | 水稲 | 0 ha | ha | 赤 | |
| 17 | 利用者 | 水稲 | 0.06 ha | ha | 水稲 | 0.06 ha | ha | 灰 | |
| 18 | 認農 | 水稲 | 0.946 ha | ha | 水稲 | 0.946 ha | ha | 紫 | |
| 19 | 利用者 | 水稲 | 0.29 ha | ha | 水稲 | 0.29 ha | ha | 緑 | |
| 20 | 利用者 | 水稲 | 1.195 ha | ha | 水稲 | 1.195 ha | ha | 灰 | |
| 21 | 利用者 | 水稲 | 1.224 ha | ha | 水稲 | 1.224 ha | ha | 灰 | |
| 22 | 利用者 | 水稲 | 0.617 ha | ha | 水稲 | 0.617 ha | ha | 緑 | |
| 23 | 利用者 | 水稲 | 0.027 ha | ha | 水稲 | 0.027 ha | ha | 緑 | |
| 24 | 利用者 | 水稲 | 0.146 ha | ha | 水稲 | 0.146 ha | ha | 灰 | |
| 25 | 認農 | 水稲 | 5.101 ha | ha | 水稲 | 5.101 ha | ha | 青 | |
| 26 | 利用者 | 水稲 | 0.091 ha | ha | 水稲 | 0.091 ha | ha | 緑 | |
| 27 | 利用者 | 水稲 | 0.214 ha | ha | 水稲 | 0.173 ha | ha | 緑、赤 | |
| 28 | 利用者 | 水稲 | 0.457 ha | ha | 水稲 | 0.235 ha | ha | 緑、赤 | |
| 29 | 利用者 | 水稲 | 0.144 ha | ha | 水稲 | 0.144 ha | ha | 灰 | |
| 30 | 利用者 | 野菜・果樹 | 0.105 ha | ha | 野菜・果樹 | 0.105 ha | ha | 緑 | |
| 31 | 利用者 | 野菜 | 0.106 ha | ha | 野菜 | 0.106 ha | ha | 灰 | |
| 32 | 利用者 | 水稲 | 1.727 ha | ha | 水稲 | 1.727 ha | ha | 黄 | |
| 33 | 利用者 | 野菜 | 0.539 ha | ha | 野菜 | 0.539 ha | ha | 緑 | |
| 計 | 33経営体 | | 17.6 ha | 0 ha | | 17.19 ha | 0 ha | | |